

学校支援課

●小中一貫教育の推進

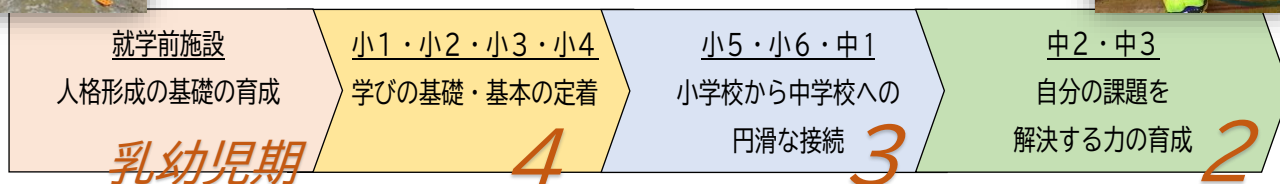
小・中学校の教員がめざす子ども像を共有し、9年間を通した教育をすすめています

《「授業改善」と「チームでの対応」の視点を大切にした「3+3の取り組み」》

授業改善	チームでの対応
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主役の授業 ・ICTの効果的活用 ・言語活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年一部教科担任制 ・個性を伸ばす生徒指導 ・途切れのない支援・特別支援
<p>子どもの学びを 次の学びに着実につなげる</p>	<p>多くの目で子どもを見て、 よさをのびし可能性を引き出す</p>

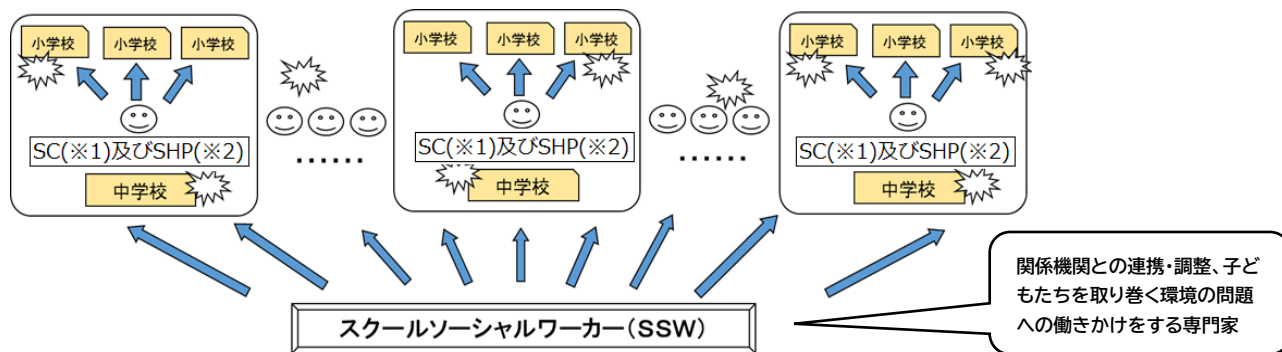


就学前施設と小学校、小・中学校における学びや育ちを円滑につなぎ、次世代を担う子供たちに必要な力を育てています



●学校指導体制支援

児童生徒の生徒指導上の対応、個別の支援を要する児童生徒への指導、さらには子どもの生活にかかわることへの対応など、教育現場における課題は多様化しており、より適切な対応が求められています。困り感をもった当事者・支援者・関係者である児童生徒や保護者、教職員の悩みや問題等を解決するため、家庭・地域・関係機関・団体等と連携しながら、助言・支援を行う学校指導体制の整備を行っています。



(※1)SC【スクールカウンセラー】
児童生徒の心の悩みに対応することを目的とする精神科医、学校カウンセラー、学校心理士、臨床心理士等の専門家。

(※2)SHP【スクールハートパートナー(会計年度任用職員)】
各中学校ブロックに1名(最多人数校区には2名)配置し、中学校区内各小学校において、学校として気になる子どもの見守りや相談、課題のある児童の支援を図る職員。状況により、中学校支援にも対応する。